

論文審査の要旨

報告番号	甲 第 2675 号	氏 名	福島 正也
論文審査担当者	主査	泉崎 雅彦 教授	
	副査	小風 暁 教授	
	副査	内田 直樹 教授	
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>円皮鍼は鍼治療に用いられる鍼の一種で、1mm 前後の極めて短い鍼を絆創膏で皮膚に留置して刺激する。</p> <p>福島らはラット社会的孤立ストレスモデルを用い、ストレスに対する円皮鍼の効果について検討した。実験には 8 週齢 Wistar 系雄性ラットを使用した。動物をコントロール群 (Con 群)、ストレスモデルにシャム鍼を貼付した群 (Sham 群)、ストレスモデルに円皮鍼を貼付した群 (PTN 群) の 3 群に分けた。社会的孤立ストレスモデルは 8 日間単独で飼育することで作製した。Con 群は 1 ケージに 3~4 匹で飼育した。ストレス負荷 7 日目、PTN 群と Sham 群には百会穴相当部 (頭頂部) に円皮鍼 (またはシャム鍼) を貼付した。ストレス評価として、噛みつき行動時間の測定と血漿コルチコステロンの測定を行った。また EIA 法にて血漿オレキシシン A 濃度の測定、外側視床下部オレキシシンニューロンの変化の組織学的検討を行った。</p> <p>その結果、ストレス負荷 8 日目、10 分間の噛みつき行動時間および血漿コルチコステロン濃度、血漿オレキシシン A 濃度いずれも PTN 群では有意に抑制された。外側視床下部におけるオレキシシン A の発現も PTN 群ではその上昇が有意に抑制された。</p> <p>以上の結果から福島らは百会穴 (頭頂部) への円皮鍼刺激がラット社会的孤立ストレスモデルにおけるストレス反応を抑制し、視床下部オレキシシンニューロンの活性を抑制することを明らかにした。</p> <p>本論文は新知見を有し、学術的に価値があり、学位論文に値すると判定した。</p> <p>論文題名： 円皮鍼はラット社会的孤立ストレスモデルにおける オレキシシン A 分泌促進を抑制する</p> <p>掲載雑誌名： 昭和学士会雑誌 第 75 巻 第 3 号 (平成 27 年 6 月) 掲載予定</p>			





